
エースの背中

チキンハート

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

エースの背中

【Nコード】

N7818F

【作者名】

チキンハート

【あらすじ】

北海道に生まれた三つ子の天才達の話です。

三つ子誕生

これは北海道石狩市に生まれた三つ子のお話です。

安藤裕幸やすゆき冴えないサラリーマン。彼の夢は子供とキャッチボールをすることだった。彼は小さい頃から野球をしていてポジションは捕手だった。

裕幸が結婚してすぐに子供ができた。彼はすごく喜び泣き笑ったが女の子であった。

だがまたすぐに子供ができた。三つ子の男の子であった。また彼は喜び泣き笑った。そして裕幸の夢が叶った！

6年後

『僕は松井秀喜みたいにたくさんホームランを打つ選手になる！』
長男の剛志たかしである。彼は裕幸にももらったバットを大事にし常に持ち歩いていた。

そして次男の友樹ゆつきは『野球なんて興味ない！』この言葉に父裕幸は悲しんだ。だけど友樹は走ることは大好きだった。

最後に三男の一輝かずきは父とキャッチボールが大好きだった。『僕は世界一のピッチャーになる』この言葉に父裕幸は泣いた！

この三人は幼稚園から帰ってきたらすぐに剛志はバット持ち一輝はグローブとボールを持ちそして友樹は父のキャッチャーミットを持たされ公園に連れていかされた。この三人の役割は決まっていた。ピッチャーは一輝、キャッチャーは友樹、バッターは剛志、これは常に変わらなかった。

三人は父が帰ってくるのを野球をしながら待っていた。特に友樹がそうだった。何故なら父にキャッチャーを変わってくれるからである。そして裕幸は息子達の成長に涙した。まず三男一輝はコ

ントロール、スピードが増したこと。そして次男友樹は打ち上げられたボール全てに追い付く足の速さそして肩力である。そして一番驚いたのが剛志の打撃センスだった。

打撃センス

休日父裕幸は三人を連れバッティングセンターへ

まずは好奇心旺盛の一輝がバッターボックスに入った。

そして第一球！！一輝はフルスイング！！

結果は！

全球三振当たればホームランかと思うスイング（親バカ）（
次は次男友樹かと思ったら『僕はやらなくていい！』この言葉は悲
しい（-.-;）

次は待ちに待った長男の登場！！

剛志は目を輝かしていた！

第一球！剛志はフルスイング！

ボールはバットにジャストミート！！ホームラン！！ホームラ
ン！！ホムラン！！

『（「。。」）「すごい天才だ」』ヒットの嵐で父大喜び！

『僕もやる』（。）父は驚いた！

友樹だ。剛志のバッティングを見て触発されたいらしい（。。）

三男も『僕もやる！』一輝は負けず嫌いだから分かるが友樹が言う
のはビックリである！

結果は剛志・友樹は同じぐらい打った。ホームランの当たりは
もちろん剛志であった。そして一輝は泣いていた（TOT）

この三人はスゴく似ている。三人は負けず嫌いそして泣き虫（；

誰に似たのかV（^-^）V

そして一輝が泣くのは分かるけどなぜ剛志が(?!?)

友樹は剛志に負けたから泣いてるのは分かるんだけどなあ？

そこはあえて聞かないでおこう。(。。(

この三人はスゴく似ている。三人は負けず嫌いそして泣き虫(; ;)

誰に似たのかV(^-^-^)V

そして帰ってきたあと三つ子は泣き出した。

一輝が泣くのは分かるけどなぜ剛志が(?!?)

友樹は剛志に負けたから泣いてるのは分かるんだけどなあ？

そこはあえて聞かないでおこう。(。。(もうそろそろ

あの三人もランドセルだなあ 由佳(長女ゆか)のランドセル姿は

可愛かったなあ()

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7818f/>

エースの背中

2010年10月11日16時35分発行